



青少年育成和光市民会議

青少年育成和光市民会議
会長 斎藤 和康

青少年育成和光市民会議は「青少年の健全育成は市民の総ぐるみで」を合言葉に、活動を通じて地域の青少年との関わりのある21団体で構成されています。

青少年問題の持つ重要性にかんがみ、広く市民の総意を集め、青少年の健全な育成を図ることを目的に、健全な青少年団体、グループの育成を図り、健全で明るい家庭・地域が営まれるための活動として、夏季スポーツ大会、新春凧上げ大会、青少年育成市民大会（講演会、映画鑑賞会、「君のライブ」）等の事業を実施しています。

しかしながら、発足した昭和54年頃とは青少年を取り巻

く社会状況や家庭のあり方も様変わりし、子どもたちの興味・関心も多岐にわたり、余暇の過ごし方や、それに應える場も多様になりました。必ずしも健全とはいえないこの現状の中で、市民会議の果たす役割はどうでしょう。21団体それぞれに加盟している団体、個人、世帯の数からみると、市民のほとんどが市民会議に関わっていることになりました。

地域住民が、子どもや子育て中の親たちに暖かい目を向け、子どもたちも家族と一緒に地域の行事に参加するなど交流を図れば、非行防止、防犯、防災にもつながるでしょう。

市民会議の目的の一つである市民会議構成団体などの連絡調整及び支援活動という観点から、単に行事を開催するだけでなく、どの子どもにも



平等にチャンスを与え、思いや可能性に応えるため、地域の青少年とかかわる団体が協力し知恵を出し合い、子どもたちの自主的な活動を支援すれば、将来ある子どもたちの生きる力を育むことになるはずです。

21団体が市民会議構成団体として、担う役割を改めて確認しあう時機かもしれません。市民会議へのご理解とご協力をお願いいたします。

青少年育成推進委員会は、青少年育成和光市民会議の21団体の一つです。

地域の一人ひと

このプレートを
知っていますか？
見たことはありますか？



地域のお店・コンビニ・駅前商店街など、
このプレートが掲示されています。



お店に来る子どもたちの行動や、地域の様子に変化はないかなど、見守り続け、私たちの活動に協力をいただいています。協力店(約240店)です。(業種は、書店・文具店、飲食店、ファミリーレストラン、酒・タバコ店、美容・理容室、コンビニエンスストア、パチンコ店、カラオケボックス、ビデオレンタル店、ゲームセンター、ゲームソフト販売・CDショップ、スポーツ用品店他)

和光高校の野球部の皆さんが掃除してくれる。あいさつもきちんとしてくれる。特にマナーは悪くない。大人のマナーの方が悪い。
授業の時間帯と思われる時に高校生が来店する。店長が質問すると、明らかな嘘をつく。
棚の前でメールを長々と打っていたり、立ち読みでのマナーが悪い子どもが増えた。

時々(年に数回)15名くらいの団体の中学生が来るが、本人たちは静かにしている様子だと思う。やはり人数が多くなると少し騒がしく思う。でも、1時間程度または時間帯によっては、「そろそろ帰らない」とはっきり言う。
自転車・バイク等の駐輪には少し気をつけていただきたい。
小学生高学年らしき子どもたちが、夜間にグループで食べていく。8時以降になっても帰宅する様子がない場合「早く帰らない」と声かけする。

お金の貸し借りを平気でしている。
(小学校高学年・中学生)
端数を友だちに払わせている。
お金の感覚がどうなのか？
ちょっと注意するとはやしたてる。

基本的に社会のルールを守れる子が大半。小学校高学年・中学生の女子による万引きがあった。当店では気が付かなかったが、お客様から通報があった。精算の際に年齢を聞くようにしている。来年の7月からは自販機でも、販売カードを持っていないと買えなくなるので、未成年者は買えなくなる。自販機が外にあるのでタバコを購入しているかもしれないが、来年からカードが必要になるので厳しくなる。



りの力が子どもを守る！



青少年育成推進委員会の活動の一つに、地域の「青少年をまもる店」協力店を一軒ずつ歩いて聴き取ったことをまとめ、紙面を通して広くお伝えしています。

それぞれの小学校区に分かれ、推進員が伺うと、地域の様子などを「子どもたちはとても元気良く、下校時など大きな声であいさつをして、手を振ってくれますよ」、「学校の行き帰りを、道路の角などで保護者が見守っているのは良いことと思いますね」などなど、嬉しいことも聞きました。



「家庭の日」
シンボルマーク

未成年と思われる青少年が、タバコを吸っている。



小さい子どもを連れた家族が多く、親の行動に問題ありの場合が多い。子どもが走り回って危険。中高生の利用が多い（大きい声で話すので他のお客さんに迷惑）
中学生の万引き、今は落ち着いている。
あいさつが中学生になった途端できなくなった。

高校生が一人で店の外に置いてあるアイスを取っていかうとしていた（見た目はとても真面目）様子を見ていと逃げて行く。

夏休み前後になると、いかにも万引きをしに来たような感じの中学生くらいの子たちが増える。（ジャージを着ている事も多い）最近はそんなそぶりを見せないようになったとしたら、逆に危ないと思っている。

最近は小学生でも万引きがある。

夜、お客様が少なくなると、休憩所に何人か座って話し込んだり、トランプをしている等の光景を見る時がある。ひどいようなら注意をしている。問題がないとしても、21時を過ぎても未成年と思われる人がいたら、声をかけ帰宅を促すようにしている。

子どもがまだお金を払っていないお菓子を食べて中途半端に戻す。注意すると親は謝るところか、逆ギレして「買えばいいんでしょ」という態度をとる。



よく話をし、コミュニケーションをとっている。

みんな良い子である。

通学時、店の前を通る子どもたちにあいさつしているが、皆きちんとできていて表彰したいくらいである。

中高生の来店が多く、飲食しながらの入店でマナーが良くない。中高生の万引きが多く、万引き後の保護者の対応が悪い。多数で来店した時のマナーが悪い。万引きも多い。



ふれあい あれこれ



7月の定例会では、少年指導員お二人に来ていただき、和光市における青少年の様子・対応など、私たち大人へのメッセージをいただきました。

少年指導員は朝霞警察署から委嘱されて和光市に8名います。警察の方とも巡回し、非

行に走らないよう未然に防止することを目的とした活動で、活動時には腕章をつけ身分証明書を持参しています。

対応

通路などを歩きながらチェック、予防としての声をかける

バイクの鍵を取り上げて、保護者に連絡をする

私服だと年齢が解りにくいので、店の方にも協力をしてもらい、お店としての時間を守ってもらうようにしている

誠意をもって接し、ふれあうことで心を開いてくれる

様子

カラオケボックスなどで喫煙している

無免許で、バイクを乗り回している

遅い時間のゲームセンター・飲食店などで見かける

他には、パチンコ店・スーパーマーケットにも出向いて、青少年の動きをみる



その他、こんなお話をいただきました

- 1) 月3回パトロールを実施しているが、23時以降は補導の対象になる。
- 2) 親の宴会などに、夜遅くまでつき合わされている子どもを見かけるが心配である。
- 3) 地域から情報を得られることで、パトロールの範囲を広げたりもする。
- 4) 和光市駅前が、以前より静かになった。
- 5) 地域の大人が否定的な見方をせず、好意的に見てあげることが大切である。
- 6) 日々の中での親子のふれあい、地域のふれあいが非行防止につながる。

平成19年度 青少年育成推進員名簿

敬称略(会長 副会長)

大坂 良子	地域代表
大谷 鐵子	地域代表
栗原 千賀子	地域代表
永井 容子	地域代表
内藤 礼子	地域代表
畠山 小百合	地域代表
大泉 久子	地域代表
中尾 真弓	地域代表
田島 暁子	地域代表
中山 賀世	地域代表
草地 都美子	白子小
阿部 かつみ	白子小

村上 千寿子	新倉小
大野 美樹子	新倉小
大田 和子	第三小
神野 雅代	第三小
古堅 明子	第四小
吉浦 直美	第四小
野谷 幸恵	第五小
色川 文子	第五小
東 科子	広沢小
和泉 由紀	広沢小
金子 雅美	北原小
島倉 道代	北原小

伊藤 好美	本町小
八鍬 香織	本町小
斎藤 多加江	大和中
榎本 里栄子	大和中
角南 一美	第二中
籾野 恭子	第二中
大沼 ゆかり	第三中(前期)
野澤 命代	第三中(前期)
岡部 理恵	第三中(後期)
酒井 栄子	第三中(後期)
井上 明次	公募
五十嵐裕子	公募